

インバウンド向け 純日本製商品のご紹介



SHIRAYURI
— TOKYO —



企業概要

会社概要



社名	株式会社東京白ゆり会（法人番号：3010901047771）
所在地	〒153-0043 東京都目黒区東山3丁目1-11 サンサーラ東山401
設立	2020年12月24日
決算期	10月
役員	代表取締役 廣川 直己 取締役 井上 真理子
従業員数	51名（2023年12月）
事業内容	婦人衣料製品の製造販売および卸し事業 インターネットを介した販売事業
資本金	2,500万円
主要取引銀行	横浜銀行 玉川支店 りそな銀行 世田谷支店 日本政策金融公庫 渋谷支店

1948年

前身の編み物教室「東京白ゆり會」の誕生

戦後混乱の中、創業者の渡部久代が「編み物を生活の足しにして欲しい」という想いで地元主婦と共に女性向けに編み物教室を開校する。



1951年



株式会社白ゆり會の設立

毛糸屋の製品受注を開始した後、台東区根岸に木造二階建ての社屋を新築。「株式会社白ゆり會」を設立する。

1960年

初めての取引開始

幾度もの三越との交渉の結果、斬新なデザイン、配色の良さ、熟意が評価されて婦人セーターの納入機会を得る。結果、日本橋三越特選売場にて初めての取引を開始。



1970年初期



製品ラインの拡大

婦人セーターだけではなく、毛糸のおくるみ、ケープ、帽子、ベスト、ソックス等を三越本店ベビー用品売場に納入開始し、製品ラインを拡大。今日当たり前である、クリーム色のベビー用品は、当社が初めて採用したとされる。

1975年

ブランド「るんぴに」誕生

ブランド「るんぴに」が誕生。ドイツストール社のジャカード織機日本第一号機を利用して製品化がされる。



1978年

オルペーラ

ブランド「オルペーラ」誕生

ブランド名「オルペーラ」が誕生。スズラン百貨店へ第1号店をオープン。

2001年

創業50周年

創業50周年を迎える。

2021年

株式会社東京白ゆり會の設立

ブランド「るんぴに」「オルペーラ」を引継ぎ、18店舗をオープン。



創業76年 ニット専門店としての進化を目指すアパレル企業

夫の死後、疎開先の実家・八王子市で「まさかと思っていた」戦災にあい、終戦後、これも「まさか」で、ほんの一区画だけ焼け残った台東区根岸、あたりは、どこを見ても焼け野原という家に戻ってきたのが、いわば渡部さんの今日への出発点だった。

戦争がなければ、四人の子どもに恵まれた医者のお婿として、静かな自分の生活を楽しんでいたはずである。――それが今や、年商十数億円、一流デパートにしか出さないという高級ニット製品の物産展内ゆり会の堂々たる女社長。

渡部さんがこんな道に入るきっかけとなったのは、終戦直後、地域の住氏が、こわれかけた幼稚園復興のために開いたバザーである。

自立する女たち
女のつくったニットの会社

東京白ゆり会



女性の姿が多い職場



出典:「わいふ(現誌名:Wife)」,編集室Wife-XF, 1982.5月号

歩み

東京白ゆり会の歩み。それは、1948年(昭和23年)戦後間もない頃でした。

木造園舎老朽化により廃園の危機にあった台東区立根岸幼稚園の再建を願い、創業者である夫渡部熊三が奉仕グループを結成し、この趣旨に賛同した創業者「渡部久代」が地元の女性たちに編み物教室を開き、作品をバザーで販売して売上を寄贈したことに始まります。

戦後の生活混乱の為に編物を生計の足しにしたいという多くの女性たちのために、創業者が立ち上がりました。

創業者が三井財閥と縁があり、三井家の紹介を受けて三越に出向き、幾度もの交渉の結果その熱意と当時にしては斬新なデザインと配色の良さを評価され、特選売場に納入する機会を得たことで、拡大を始めます。

当社が日本初に開発および採用し、一般化が進んだものとして「自動機ジャガードセーター」「ベビー用品のクリーム色採用」などが上げられます。

国内でも歴史ある会社です。古くから続く伝統的技術には好評を得ており今後も歴史を守りながら、わたしたちは進化を遂げて参ります。



TOKYO SHIRAYURIKAI

About

私たちについて

Business

事業について

Brands

ブランド

Stores

店舗一覧

Stores

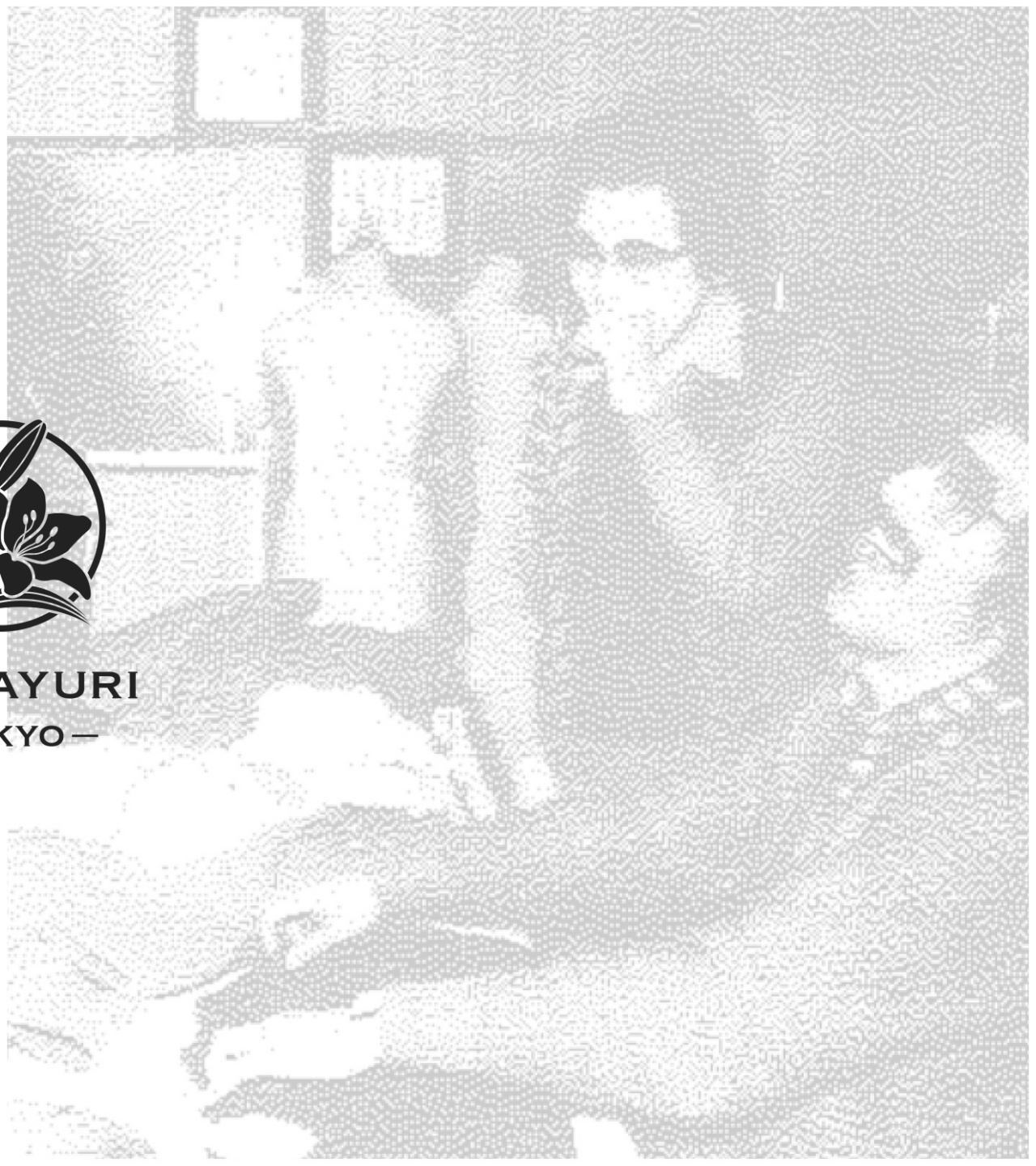
お知らせ

お問い合わせ

女性の誇りを紡ぐ

Read More

ブランドのご提案

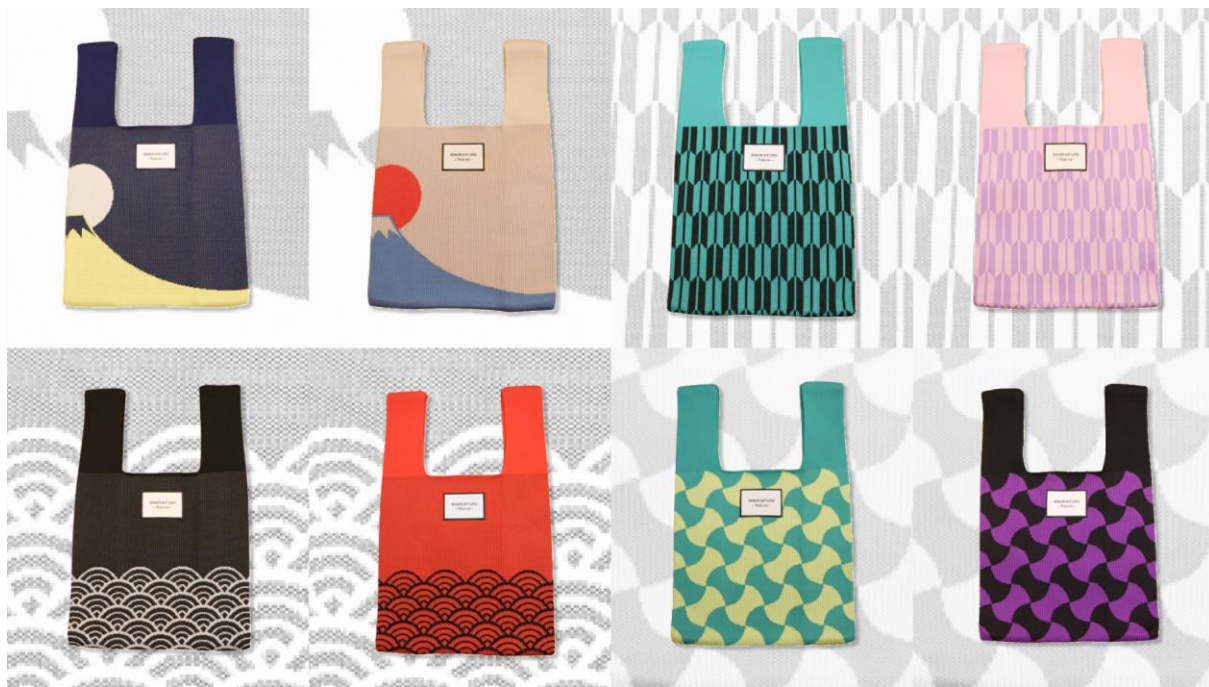


SHIRAYURI
— TOKYO —



ブランドコンセプト

SHIRAYURI TOKYOは75年以上ニット専門として磨いてきた当社の技術を結集し「純日本製の高い品質のニットで日本の伝統性あるカルチャーを楽しむ」ことをコンセプトとしたブランドです。訪日外国人のみならず、世界の日本好きな方に日常づかい可能なアイテムをご提供します。



ブランド名	SHIRAYURI - TOKYO -
ターゲット	ALL AGEの男女
プライス	3,960円(税込)
生産国	純日本製
ブランドの特徴	<ul style="list-style-type: none">• All Made in Japan(新潟五泉市)かつ、ニット商品に特化。• 日本の繊細で誇り高い技術と、伝統的カルチャーの組み合わせ。• 伝統×トレンドの調和性あるデザイン展開。• クラウドファンディングでは生産予定の90点がプロジェクト期間終了前に完売。

商品イメージ

現在の展開は昨今、多くの女性が普段づかいとして活用することの多いニットバッグを「4柄×2色」の計8種で展開。
日本の伝統的テキスチャーである“紋様”の採用により、主に訪日外国人向けのお土産や日本のカルチャーを楽しみたい外国人の購買を想定している。



現状

合計 8 種

今後

合計 16 種

※柄とカラーを追加
※上記以外にサイズ追加を検討

特徴

SHIRAYURI TOKYOの大きな特徴は75年以上の歴史あるニット生産技術にこだわり、百貨店品質のものを誰でもお手頃にご提供できること。具体的には以下のとおり。

- ・ **生産地・生産技術**

- ニットの生産で有名な新潟市五泉市で製造
- デザインはプリントではなくジャガード編みの再現による、手に取った時の高級感

- ・ **デザイン**

- それぞれ縁起の良い意味を持つ4種の和柄を採用

- ・ **大きさ**

- 500mlのペットボトルがすっぽり入る使いやすい大きさ

- ・ **耐久性**

- 通常の1.5倍の時間をかけ、1つ1つ職人の手により編み上げており、軽さと耐久性を両立

- ・ **商品価格**

- ニットバッグとしてはやや高価ではあるが、1点1点を職人が仕上げている商品群のなかでも、手が伸びやすい価格帯

販売実績(国内)

2024年12月よりクラウドファンディングにて展開開始。実施期間は30日間であったものの、**5日間**で完売。
今後は、海外クラウドファンディングの利用や、モール出店予定。また、複数の事業者(ホテル業など)からインバウンド商品としての取り扱いに関する相談あり。



五泉市の職人技が光る和柄ニットバッグ。日常に上質な温もりと小さな贅沢をプラス。

#ファッション #バッグ #小物 #ハンドメイド #日本製

◎ 新潟 品 ファッション

いいね! 4

✕ ポスト

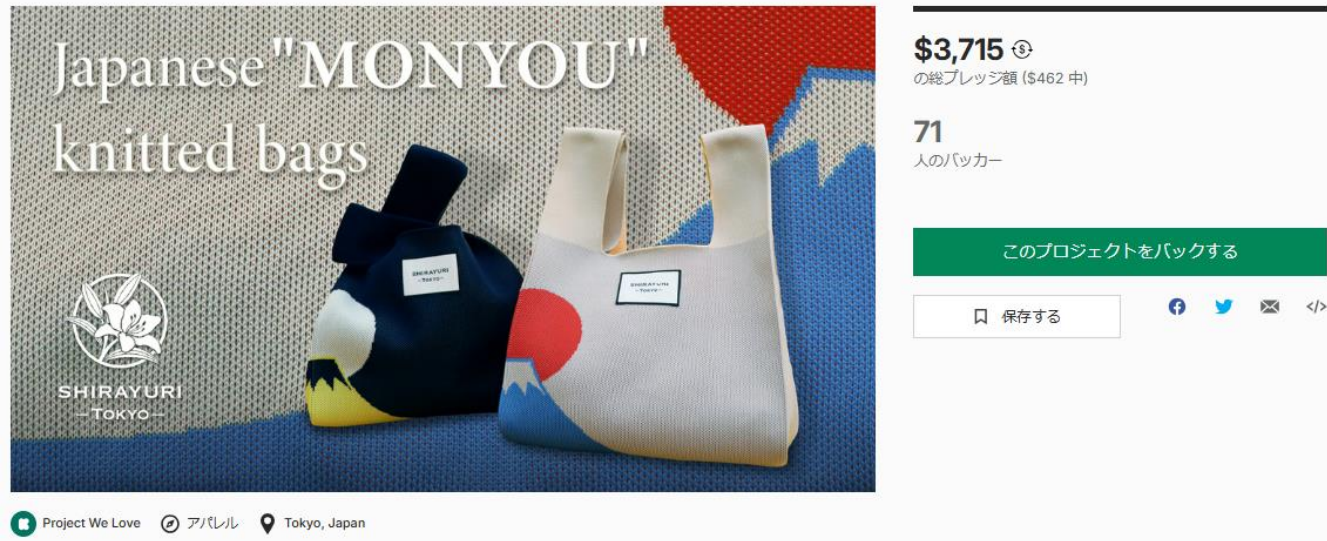
B!

</> 埋め込み

媒体	Makuake(クラウドファンディング)
実施期間	30日間
売上個数	90個
売上(円)	254,160

販売実績(アメリカ)

2025年1月より世界最大のクラウドファンディング Kickstarterにて展開開始。1ヵ月間で、55万の実売を記録。今期より、台湾、中国、EUへ展開開始し、アウトバウンド販売や旅前需要に乗せる。



媒体	Kickstarter(クラウドファンディング)
実施期間	30日間
売上個数	71個
売上(円)	554,140



TOKYO SHIRAYURIKAI